

令和3年8月16日

守谷市議会議長 高橋 典久 様

請 願 者

住 所 守谷市〇〇〇

氏 名 松見 佐知子 他9名

紹介議員 小菅 勝彦

子供たちへの新型コロナワクチン接種の中止を求める請願書について

【請願趣旨】

1. 10代への新型コロナワクチン接種の中止を検討願いたい。
2. 新型コロナワクチンが従来のワクチンとは違い、（遺伝子ワクチン、臨床試験中、中長期の副反応を見ていない）この三点を広く市民に容易に目にできるよう、広報・ホームページ・ワクチン接種券の同封説明書に明記頂きたい。（添付書類を参照ください）

【請願理由】

日本感染症学会COVID-19ワクチンに関する提言（第3版）2021年7月27日17ページ（別紙参照）に記載がある通り、我が国では12～15歳を対象にした臨床試験は実施されておらず、安全性の確認が十分でない状況での承認は拙速な印象を受けます。一方で小児は感染した場合でも無症状か軽症で経過しています。変異株の出現で小児の集団感染の報告もみられますが、日本小児科学会は「現時点で変異ウイルスが子供に感染した場合も、従来ウイルスより重症化する可能性を示す証拠はなく、多くが無症状から軽症で経過しています」としています。

このような状況下で、副反応の頻度が比較的高く、長期的な安全性がまだ確立していないmRNAワクチンの接種を12～15歳に進めるにあたっては、本人と保護者への丁寧な説明が欠かせません。とあります。

以上の理由は、10代へのワクチン接種中止を考える十分な理由であり、即時停止する判断材料に値するものと考えます。

なお、参考までに以下ワクチンに対する抗議の活動が継続中です。

- ・新型コロナワクチンの安全性に懸念を訴える医師ら450人が、6/24連名で接種中止を求める請願書を厚生労働省に提出しました。
- ・また7/30に国に対して『武漢ウイルスワクチン特例承認取消請求』訴訟が原告ら訴訟代理人 南出喜久治弁護士らによって、始まっています。

- ・一般市民らによる『子供たちへの新型コロナワクチン接種の停止』を求める署名活動が現在も行われていて、7/15現在27,272名の署名が厚生労働省へ提出されています。

上記の理由から、10代への新型コロナワクチン接種の中止と市民へワクチンの特異性を容易に周知することを請願致します。